

平成 18 年 8 月 29 日
東京都板橋区小豆沢 3-6-10
オリエンタル酵母工業株式会社

オリエンタル酵母工業は米国 SDI 社の抗体作成技術を統合する事で
日本で初めて、ほとんどの生物に関する抗体作成や検出が可能となりました

オリエンタル酵母工業(株) (本社：東京都板橋区、社長：内藤利邦) は DNA マーカーを探索する解析サービス事業を更に強化すべく、抗体の生産ではアメリカ最大のバイオ企業 SDI 社 (ストラテジックダイアグノステックス社、本社：米デラウェア州) と技術提携しました。

バイオマーカーは、ヒトの生化学的変化を定量的に把握するための指標となる生体由来の物質で、DNA、抗体を含むタンパク質、生体低分子化合物等を指します。これら指標は血液や尿中などに数多く存在し、その量を測定することで病気の早期診断や予防医療を可能にします。

当社は放射線医学総合研究所・先端遺伝子発現研究グループ (所在地：千葉県千葉市、安倍真澄リーダー) とメッセンジャースケープ社 (本社：東京都渋谷区、社長：湯野川春信) とハイセップと呼ばれるトランスクリプトームによる DNA を網羅的に解析できる応用技術を開発し、抗体開発と抗体作成受託ビジネスを進めてまいりました。ハイセップは一度の解析で数多くのバイオマーカーを見つけ出せ、当社は今までに数種類のバイオマーカーを検出することに成功し、実用化を進めております。

このハイセップ (HiCEP) 技術と SDI 社の抗体作成技術を統合する事で、日本で初めて、ほとんどの生物に関する抗体作成や検出が可能となりました。

SDI 社は DNA をマウスに直接免疫して抗体を作製する技術確立し、事業を開始しています。SDI 社の技術には、多種類の DNA を多数のマウスに注入し、個別にしかも同時に抗体マーカーを作成できる特徴があります。DNA 免疫後、抗体の状況を確認しながら、そのままモノクローナル抗体の開発へも移行できます。精製の難しいタンパク質や、分解し易いタンパク質にも同技術が使用されております。

当社はこの技術提携により、ハイセップで検出した DNA マーカーから、抗体マーカーを数多く連続的に開発する事が可能になりました。従来は発見した DNA マーカーをタンパク質で発現し、そのタンパク質を精製することにより免疫原を得て抗体を作成していましたが、この免疫原調整期間を著しく短縮することが可能となりました。

なお、今月末には新規創薬バイオマーカーの検索についてのシンポジウムを開催し、これら一連の事業について企業や公的研究機関に発表いたします。

(8月29日(東京)、30日(大阪))